



JAPAN P&I NEWS

外航組合員各位

紅海・アラビア海—海賊・海上犯罪

IMB Piracy Reporting Centre から掲題に関する情報を入手しましたので、ご参考に供します。

メディアでたびたび報道されているように、フーシ派による商船攻撃のため、紅海を運航するリスクは高まっています。IMB Piracy Reporting Centre に報告された事例をご紹介します。

1. 紅海：12月14日協定世界時 11:46、北緯 13 度 41 分東経 42 度 38 分付近を航行中の船舶から、左舷後方 50 メートル沖で爆発があったと通報があった。当局が調査を進めている。船舶は注意して航行し、不審な動きがあれば UKMTO (United Kingdom Maritime Trade Operations) に報告すること。
2. 紅海：12月14日協定世界時 11:45、イエメン海軍を名乗る何者かが、紅海を航行中の船舶に対し、北緯 14 度 54 分東経 42 度 1 分付近のイエメンへ進路を変更するよう命令した。
3. オマーン：12月13日協定世界時 5:00、5~6 隻の小型ボートが、オマーンの Al Duqm の南約 90 海里、北緯 18 度 30 分東経 58 度 44 分付近を航行中の船舶を追跡した。各ボートには最大 3 名が乗船し、船首には機関銃が搭載され、強力な船外エンジンが付いていた。ボートは 90 分間にわたり本船を追跡し、0.7 海里以内まで接近した後、その海域を離れた。
4. 紅海：12月13日協定世界時 4:00、マルタ籍のばら積み貨物船が、イエメンの Hodeidah の西 50 海里、北緯 14 度 48 分東経 42 度 4 分付近を航行中に接近された。AIS データによると、本船は紅海を北上中であった
5. 紅海：12月13日協定世界時 3:43、武装した 3 名乗船のスピードボートが、イエメンの Hodeidah から約 50 海里、北緯 14 度 48 分東経 41 度 57 分付近を航行中のマーシャル諸島籍タンカー ARDMORE ENCOUNTER に接近し、発砲した。スピードボートは船外エンジン 2 基を搭載し、20 ノットで接近してきた。武装警備隊が威嚇射撃を行ったが、犯人は 300 メートルの距離からタンカーに向けて最大 10 発を発射した後、その場を離れた。小型船舶が離れた後、イエメン当局を名乗る何者かが、本船にイエメンへの進路変更を指示した。その後、イエメンからタンカーに向けて少なくとも 2 発のミサイルが発射された。1 発は迎撃され、2 発目は船尾から 200 メートルの地点で爆発した。爆発後、船員は非常用ステーションに召集された。事故の後、本船と船員は無事であると報告された。
6. 紅海：12月11日協定世界時 22:45、イエメン海軍を名乗る何者かが、紅海を航行中の船舶に対してイエメンの港（正確な場所は不明）へ進路を変更するよう命令した。

7. 紅海：12月11日協定世界時 21:00、対艦巡航ミサイル（ASCM）が、イエメンの Mokha の西 15 海里、北緯 13 度 17 分東経 42 度 59 分付近を航行中のノルウェー籍タンカーSTRINDA に命中した。ASCM はイエメンのフーシ派支配地域から発射された。本船はこの攻撃による火災と船上の損害を報告した。火災はその後収束し、負傷者は報告されていない。



以上